

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業	評価者	建築指導課担当課長	近藤 裕二
都調-04 建築相談事業	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務	主管課	建築指導課
		関連課	
総合計画上の位置付け	分野	防災・安全	施策の方針
			地震対策・風水害対策の充実

1 事業の目的

対象	昭和56年5月31日以前に建築された一戸建ての住宅・2世帯住宅・店舗併用住宅(いずれも在来方法で木造2階建て以下)・マンション等
意図	当該建築物等を所有する市民の安全を図るため。
効果	建築物等の安全性に対する市民の防災意識の向上を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

・窓口で耐震相談を受け、希望者に現地耐震診断を行い、診断費用を助成した。 ・木造住宅の耐震改修工事や危険ブロック塀等の撤去を行った場合の費用を助成した。 ・共同住宅等への耐震改修アドバイザーの派遣及びマンションの耐震診断費用を助成した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人 口	177,464人	177,243人	人 口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
世 帯 数	80,368世帯	80,676世帯	世 帯 数	80,928世帯	
事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況	決算値(千円)	17,944	当初予算(千円)	28,259	
	国県支出金	7,434	国県支出金	15,052	
	地方債		地方債		
	その他		その他	233	
	一般財源	10,510	一般財源	12,974	
	人員配置数	2.0	人員配置数	2.0	
経費運営	人件費(千円)	15,130	人件費(千円)	15,332	
	総事業費(千円)	33,074	総事業費(千円)	43,591	
	市民1人当りの経費(円)	187	市民1人当りの経費(円)	246	
	対象者1人当りの経費(円)		対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	○-2. 適正な受益者負担を導入している
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー
事業内容の方向性	☒ a: 事業内容を見直す ☐ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
	見直しの内容	見直しの内容
	⇒	⇒
予算規模の方向性	☒ A: 予算規模を拡大する ☐ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 建築物の耐震改修の促進に関する法律の改正により、国の基本方針において、建築物の耐震化率を平成32年度までに95%とする目標が定められたため予算規模を拡大するとともに、引続き住宅の耐震化を促進していく。
総評(評価に対する考え方、根拠等)	・市民の安全に直結する建築物の耐震化を促進していかなければならないため、事業費の削減は「ない」とした。 ・類似の事業はないため、「統合はできない」とした。 ・民間建築物の耐震化は全国的に急務であり、事業は妥当である。成果は出ているが、依然として目標に達していないため、引続き、戸建て住宅の耐震診断・耐震改修やマンションの耐震診断を促進していくとともに、新たに避難路沿道建築物耐震化の促進に向けて、診断を実施していく必要がある。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	鎌倉市耐震改修促進計画の見直し	
課題解決のために行った平成27年度の取組	鎌倉市耐震改修促進計画の改定を行った	☒ 解決 ☐ 一部解決 ☐ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	平成28年度から開始する避難路沿道建築物耐震診断の促進	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	耐震相談					単位	件	指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
耐震相談が、耐震化を希望する市民の入り口であるため	目標値	80	80	80	80	80	80			
	実績値	28	69							
	達成率	35.0%	86.3%							
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由		年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31		
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方		広報がまくらへの掲載など市民への周知を行ったことにより、相談件数の増加につながっている。 今後も目標達成に向け、継続的な周知が必要である。								

● 事業に関する特記事項

■ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	■ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---------------------	--------------------------